

当社は、“快適生活”をコンセプトに置き、暮らしに寄り添い新たな価値を創出し続けてきました。企画から製造・販売を手掛ける責任として自社施設と設備及びサプライチェーンにおいて、環境課題を抽出して会社全体で対策を推奨・実践し、この取組を通じて共に成長しながら豊かな地球環境の実現に貢献します。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2025年1月～2027年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を21.55%以上向上させる。

3. 前向きな取組みの内容

富士裾野工場において、天然水製造ラインを増設。天然水の販売量及び輸出量増加に伴い売上高・営業利益増加。従来の天然水製造ラインと比較し、生産効率が向上するため、エネルギーの単位消費量が減少し、生産あたりのエネルギー起源CO2排出量削減に寄与。

大河原工場において、太陽光発電自家消費設備を導入。電力購入量減少に伴い経費が削減され、営業利益増加。加えて、再生可能エネルギー由来の電力であるため、エネルギー起源CO2排出量削減に寄与。

これらの取組に加え、他事業活動により収益を増加させ、会社全体の炭素生産性を21.55%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組みの内容のイメージ>

富士裾野工場全景



大河原工場全景



天然水

